



人いきいき

農業者としての第一歩

松井 皓紀さん（旭 町 33 歳）
松井さゆりさん（旭 町 33 歳）

今年の春に、さゆりさんの実家の農業に就農した皓紀さん・さゆりさん夫妻。「両親から学びながら、農業に取り組んでいきたい」と抱負を話していました。

皓紀さんは、北見市出身で、高校卒業まで北見市で過ごし、前職は公務員です。さゆりさんの両親が農作業に従事する姿を見て憧れ、そして尊敬し、今年の3月に退職して就農しました。現在はさゆりさんの両親と皓紀さん夫婦の4人で、農作業に従事しています。

「トラクターの運転など、初めての経験ばかりで覚えることが多く大変ですが、農作物の生育状況を通して、自分たちの農作業が反映されていることを実感し、やりがいを感じる毎日です。妻の実家はタマネギ、秋まき小麦、ビートを生産している農家で、自分たちは4代目です。就農1年目の今年は、妻の両親から学びながら農作業をしています。地域の農業者の方と交流する機会も増え、農業に対する姿勢や熱意など学ぶことが多く、さまざまな助言をいただき、感謝しています。就農と同時に農協青年部、玉葱青年部、畑作専門部に入部し、地域の方と交流しながら農業経営の参考にしたいと考えています」（皓紀さん）

「夫から就農の決意を聞いたときは、驚きや戸惑いもありましたが、夫の意思を尊重しました。これから家族で協力し合い、健康に注意して農業を続けていきたいです」（さゆりさん）

「妻の両親から学び、経験を積み、1年かけてひと通りの農作業を覚えることが今年の目標です。安全安心で高品質の農作物を安定供給し、消費者に届けることができるよう努力していきたいです」（皓紀さん）



今月の1枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。
今月はわくわく園の「水遊び」です。



町のホームページでも写真や動画で行事などを掲載していますので、ぜひご覧ください。



地域おこし協力隊だより（大槻一男ホナウド）

私はブラジル、サンパウロ出身の大槻一男ホナウドです。
7月15日に日本に到着し、7月16日から地域おこし協力隊のタウンプロモーション担当の仕事が始まりました。

今回、日本に来るのは2回目です。初めて来たのは、平成3年から平成18年までの15年間、関東地方で暮らしていました。久しぶりの来日ですので、まだまだ生活のことや仕事のことを整理中です。

ブラジルと日本には大きな文化の違いがありますので、これからいろいろ学んで地域おこし協力隊の仕事をしっかり努力してやっていきたいです。

写真や動画をSNSで紹介し、より多くの人に訓子府町を紹介したいと思っています。皆さんのところにも取材に伺いますので、よろしくお願いします。



短歌 訓子府短歌会

大会の団体戦では大声を学生の頃に帰った気分だ	ブラジルの大槻一家移り来る夢を抱きし祖母のふるさと	行灯に乘せし思いは能登復興仲間と作りし絆も深く	夏まつり次世代担ふ若きらと踊り踊れや訓子府音頭	子等残し病に倒れし彼女の思ひ熱き血すらも短歌に詠めり (中城ふみこ)	十勝野を走りて目指すは時田邸翁囲みて農史を学ぶ	常呂川に泳ぎし後は陽にあたり生味噌をつけ胡瓜食べける	満月の祭りに集ふ娘らを照らす花火にゆかた涼しげ	ぐらついた歯の一本を抜きながら「総入れ歯近いナア」と先生は言ふ	十勝野は住む人さへも微笑みて豊かな稔りの大地であると	やんはり豆の葉揺するたればの水はゆつくり地面を濡らす
大谷 昆野 範雄	北見市 小泉 智也	若葉町 柴田 泰葉	西幸町 及川 範子	大町 佐藤 幸子	清住 太田 豊	西富 山本 祐一	日出 山内スミエ	旭町 瀬谷 隆夫	東幸町 吉野 良華	東幸町 中島 玲子

※作品は、「訓子府短歌会」の選定により掲載しています。